

「あ・そ・ぼ プロジェクト」の実施について

- 目的 平成29年度からスタートした「あ・そ・ぼプロジェクト（あいさつ・掃除・ボランティア）の発展した取組を、生徒どうして競い合うことを通して、生徒の自尊感情を高め、生徒の社会性を育て、学校を活性化する。

<内容>

さわやかあいさつ

レベル5のあいさつ（先に・立ち止まって・笑顔で）をする生徒にあいさつシールを渡し、「あいさつカード」に貼る。カードが3冊いっぱいになった生徒には、「エクセレントあいさつバッジ」を渡す。



ひたむき掃除

縦割掃除の5つのポイント（①時間を守って集合、②無言清掃、③時間いっぱい集中、④片付けまで行う、⑤気づき清掃）を、3日連続で達成した生徒に掃除シールを渡す。掃除カードに貼る。カードが3冊いっぱいになった生徒には、「エクセレント掃除バッジ」を渡す。



まえむきボランティア

ボランティアを行うと、ボランティア手帳に印鑑を押すまたはボランティアシールをはる。手帳が3冊いっぱいになった生徒には、「エクセレントボランティアバッジ」を渡す。



さらに・・・

3つのバッジをすべて集めた後、1週間程度の期間をおき、校長先生をはじめとして、どの先生からも「さわやかなあいさつができており、バッジを授与するにふさわしい生徒である」という評価がでたときに、プレミアムエクセレントバッジを渡す。



- ※ カードが3冊集まったら生徒会担当に渡し、バッジを担任から生徒に渡す。
- ※ バッジをもらった生徒は常に制服の襟につけておかなければならない。バッジは優れた取り組みを行っている生徒の証であるため、バッジをもらった後も継続して、取り組みを行う。
- ※ シールやカード、バッジは人に貸与したり譲渡したりしてはならない。また、活動の状況がバッジをつけるのにふさわしくないと判断された場合、バッジを返却しなければならない。
- ※ バッジをつけている生徒が、「さわやかなあいさつ」や「ひたむきな掃除」ができて着ない場合は、教員が「できていない」ことを本人に知らせ、何度注意しても出来ない場合は、バッジを返却させる。
- ※ バッジ・シール・手帳は、レターボックス横に置いてあります。

○挨拶運動・募金活動



○小中交流清掃・ボランティア活動



小中交流（おがたまごフェスタ）

